

紙とExcelからの脱却 楽楽精算で進める経費精算の効率化

オフィスソリューション

DX/ITソリューション



鈴与商事株式会社

会社HP



鈴与商事株式会社

小澤 健人さま / DX営業部 課長

高木 由裕さま / 情報システム部

業種

農業・林業・漁業 土木・建設業 製造業 電気・ガス・熱供給 情報通信業

物流・運輸業 卸売業・小売業 サービス業

活用用途 経費精算のペーパーレス化と業務効率化による負担軽減

導入前の状況

1. 申請書と会計伝票の申請・承認に手間がかかり、二重入力や二重承認が発生していた。
2. 入力漏れ・金額不一致・領収書紛失などのミスが多く、差し戻し対応や確認作業が経理部の大きな負担となっていた。
3. 月末や期末に領収書が一気に提出され、処理が集中し業務効率が大幅に低下、担当者の精神的負担も増大していた。

要件や選定の決め手

1. 国内シェアトップクラスであり、カスタマイズ性が高く、自社の業務フローに合わせやすかった。
2. グループ会社との連携やサポート体制が整っており、安心して導入を進められた。
3. 他社製品と比較した結果、利便性と拡張性の両面で優位性があった。

導入による効果

1. 申請書と会計伝票の二重入力・二重承認が不要となり、業務効率が大幅に向上した。
2. 領収書の電子保存、ICカード連携、乗換検索機能により申請者の利便性が高まり、外出先からの申請・承認も可能になった。
3. 入力漏れや不備はシステム上で検出されるため差し戻しが減少し、無駄な作業や申請者へ差し戻す時間が削減され、他業務への時間確保につながった。

DX推進で業務効率化を支える経理部門

ー[鈴与商事] 導入に至った経緯について教えてください。

2018年当時、経費精算業務は紙伝票とExcelに依存しており、領収書の貼付や二重入力・二重承認といった非効率が目立っていました。経理担当者からは「月末の処理集中で業務が回らない」といった声が上がリ、改善の必要性が社内で共有されました。社長からの強い指示も後押しとなり、効率化を目的に経費精算システム導入を検討開始。複数の製品を比較検討した結果、シェアや機能性、サポート体制の点で優れていた「楽楽精算」を採用することになりました。



よりよく、寄り添う 経費精算クラウド

経費精算業務に潜むアナログ処理の限界

[鈴与商事] これまで経費精算業務の効率化について、どのように取り組んできましたか。

長年、紙伝票やExcelを使った経費精算フローを続けてきました。領収書の貼付や申請書の提出は日常的に発生し、業務を止める余裕がない中で「手間は大きいけど仕方がない」として運用を続けてきたのが実情でした。ただし、大きなトラブルが表面化しにくかったこともあり、改善の必要性を感じつつも、システム導入や業務見直しに踏み切るタイミングをなかなかつかめませんでした。

電子保存やICカード連携という実用的な提案

ー[鈴与商事] 実際に経費申請する営業側の立場では「楽楽精算」の印象はいかがでしたか。

従来の経費精算は領収書を紙に貼付し、Excelフォームで申請する必要があるし、修正や差し戻しに大きな手間がかかっていました。そのため、「領収書を写真で電子保存できる」「乗り換え検索で正確に入力できる」といった機能は非常に魅力的でした。また、申請者側から見ても「スマホで簡単に申請できる」「申請履歴が残るため確認が容易」という利便性が高く、これなら現場に浸透しやすいと感じました。



運用ルールと管理負担への不安

ー[鈴与商事] 導入時に不安はありましたか。

領収書の電子保存については、「写真を撮ったら原本は破棄してよいのか」といった法令遵守の観点で不安がありました。また、システムのバージョンアップに伴う画面変更や、データメンテナンスなど管理部門の負担増も懸念点のひとつでした。一方で、社内ルールを整備し、国税庁の電子帳簿保存法に対応する形で運用すれば問題なく活用できるとの説明を受け、徐々に不安は解消。現場担当者にとっても「スマホで申請できる利便性の高さ」が大きな安心材料となり、スムーズに導入を受け入れることができました。



導入による効果

◆定量効果（2025年7月実績ベース）

伝票削減数：1,740件／月（交通費 517件、出張 572件、経費 250件、交際費・会議費 401件）

削減時間：145時間／月（1件あたり処理・承認5分換算）

削減金額：約43万5,000円／月（人件費単価3,000円／時間で試算）

年間換算（約522万円）の削減効果ができました！

◆定性効果（リアルな社員の声）

〔経理部門担当者の声〕

システムによる自動チェックで差し戻しやミスが減り、担当者の**心理的負担が軽減**した。

〔営業部門申請者の声〕

スマホ申請や電子保存により申請者の利便性が向上、**業務ストレスが大幅に減少**した。

〔情報システム部導入社の声〕

月末・期末の処理集中が緩和され、**経理部門全体の業務平準化と効率性**が高まった。

参考リンク [経費精算・請求書処理のムダ、ゼロに。 | 楽楽精算](#)